

**「西のゴールデンルートアライアンス準備会」を開催しました！
～西日本・九州一体で取り組む観光誘客について意見交換～**

9月24日開催の福岡カンファレンスで表明された「西のゴールデンルート」の取組を拡大・推進していくために、推進体制の強化、今後の取組の方向性、民間からの提案などをテーマとして、「西のゴールデンルートアライアンス準備会」をオンラインで開催しましたのでお知らせいたします。

準備会には、武内市長のほか、他の参画している首長、国や広域連携 DMO(地域ブロック別の観光づくり法人)、民間事業者などが参加しました。

○開催概要

日時：令和5年12月22日(金)15:00～15:45(オンライン)

参加者：

- ①神戸市 久元市長、②姫路市 清元市長、③高松市 大西市長、
- ④下関市 前田市長、⑤北九州市 武内市長、⑥武雄市 小松市長、
- ⑦長崎市 鈴木市長、⑧別府市 長野市長、⑨鹿児島市 下鶴市長、
- ⑩福岡市 高島市長(合計 10 首長)
- ⑪観光庁

九州運輸局、広域連携 DMO(九州観光機構、関西観光本部)等も参加

- ⑫WAmazing 株式会社 加藤代表取締役社長

※岡山県 伊原木知事、広島県 湯崎知事、熊本市 大西市長、

宮崎市 清山市長は公務で欠席

※姫路市、高松市が新規参画



【準備会の様子】

○会議で出た意見

- ・欧米豪からの誘客にあたり、参画自治体の拡充に加え、事業者をはじめ、あらゆる主体者の参画のうえ、取組を進めていくことが重要である。
- ・東京・京都・大阪だけでなく、新しい日本の魅力を開拓し、PRしていくという意識が大切。
- ・瀬戸内国際芸術祭など、海外からの誘客が期待できるイベントと連携していくことが大事。
- ・「ナイトタイムエコノミー」や「祭り」など、西日本・九州の強みとなるテーマでコンテンツを組み合わせることが大事。
- ・西日本・九州を直接訪れていない欧米豪旅行客を引っ張ってくるため、魅力を強力に発信することが重要。
- ・欧米豪旅行客の旅行特性や広範囲による移動傾向にあるという特徴を捉えながら、広域連携や旅行の高付加価値化といった視点が大事。
- ・地域に暮らす人が、観光を通じて今まで守ってきた地域の価値を次世代につなぐきっかけにするというような持続可能な観光という視点も必要。

○今後の予定

- ・自治体首長をはじめ、その他、西のゴールデンルートを取組にかかるとともに、主体者を含めた「西のゴールデンルート」アライアンスとして、令和6年度の早い時期に体制拡充予定。

<お問い合わせ先>
産業経済局観光課
大前(課長)、塚本(係長)
TEL:093-551-8150